



## 2020年6月期 決算短信(日本基準)(連結)



2020年8月7日

上場会社名 澁谷工業株式会社

上場取引所 東名

コード番号 6340 URL <https://www.shibuya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澁谷 弘利

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 吉道 義明

TEL 076-262-1201

定時株主総会開催予定日 2020年9月24日

配当支払開始予定日

2020年9月25日

有価証券報告書提出予定日 2020年9月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年6月期の連結業績(2019年7月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	103,619	4.6	9,366	9.7	9,560	7.6	6,471	16.7
2019年6月期	108,626	10.7	10,369	7.9	10,352	4.8	7,766	3.8

(注) 包括利益 2020年6月期 6,485百万円 ( 11.5%) 2019年6月期 7,328百万円 ( 2.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年6月期	233.89		9.8	7.4	9.0
2019年6月期	280.70		12.7	8.5	9.5

(参考) 持分法投資損益 2020年6月期 59百万円 2019年6月期 4百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	126,745	68,684	54.2	2,481.87
2019年6月期	131,136	63,861	48.7	2,307.43

(参考) 自己資本 2020年6月期 68,667百万円 2019年6月期 63,841百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年6月期	3,639	4,750	2,114	26,552
2019年6月期	16,609	2,712	2,706	29,771

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年6月期		30.00		30.00	60.00	1,660	21.4	2.7
2020年6月期		30.00		30.00	60.00	1,660	25.7	2.5
2021年6月期(予想)		30.00		30.00	60.00		28.6	

### 3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日～2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	103,000	0.6	8,250	11.9	8,300	13.2	5,800	10.4	209.63

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期	28,149,877 株	2019年6月期	28,149,877 株
期末自己株式数	2020年6月期	482,349 株	2019年6月期	482,007 株
期中平均株式数	2020年6月期	27,667,764 株	2019年6月期	27,668,035 株

(参考) 個別業績の概要

2020年6月期の個別業績(2019年7月1日～2020年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	73,225	1.1	6,140	4.6	7,519	2.2	5,542	7.8
2019年6月期	74,048	19.7	6,436	16.8	7,684	9.8	6,011	16.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期	200.33	
2019年6月期	217.26	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	104,468	59,644	57.1	2,155.78
2019年6月期	107,557	55,957	52.0	2,022.46

(参考) 自己資本 2020年6月期 59,644百万円 2019年6月期 55,957百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。よって、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
 なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P2「経営成績の概況」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 経営成績の概況 .....	2
(2) 財政状態の概況 .....	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	18
(重要な後発事象) .....	18
4. その他 .....	19
受注の状況 .....	19

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

① 当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、米中貿易摩擦による海外経済減速が懸念されるなか、雇用・所得環境や設備投資が堅調に推移するなど緩やかな回復基調が続いておりましたが、年度後半から新型コロナウイルス感染症の拡大により景気は急速に悪化するなど、厳しい状況となりました。しかしながら、当社グループの主力事業であるパッケージングプラント事業は受注生産型であり、機械メーカーとしては、その影響は比較的軽微に留まりました。

このような状況のなか、当社グループの連結売上高は1,036億19百万円（前期比4.6%減）、営業利益は93億66百万円（前期比9.7%減）、経常利益は95億60百万円（前期比7.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は64億71百万円（前期比16.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[セグメント別の売上高]

(単位：百万円)

セグメントの名称	前連結会計年度	当連結会計年度	対前年比
			%
パッケージングプラント事業	63,777	65,353	+2.5
（酒類用プラント）	（ 2,985 ）	（ 2,311 ）	（ △22.6 ）
（食品用プラント）	（ 46,577 ）	（ 48,791 ）	（ +4.8 ）
（薬品・化粧品用プラント）	（ 11,917 ）	（ 11,964 ）	（ +0.4 ）
（その他）	（ 2,296 ）	（ 2,285 ）	（ △0.5 ）
メカトロシステム事業	31,001	26,538	△14.4
農業用設備事業	13,848	11,728	△15.3
合 計	108,626	103,619	△4.6

（パッケージングプラント事業）

パッケージングプラント事業の売上高は、酒類用プラントは業界全体で酒類販売の需要が伸びていないことを起因として減少したものの、食品用プラントは引き続き好調な国内販売に加えて海外向け飲料用無菌充填ラインの納入が増加し、また薬品・化粧品用プラントは大型バイアルラインの納入などが寄与したことから、前連結会計年度に比べ増加しました。

その結果、売上高は653億53百万円（前期比2.5%増）、営業利益は100億38百万円（前期比1.7%増）となりました。

（メカトロシステム事業）

メカトロシステム事業の売上高は、半導体製造装置については、米中貿易摩擦に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け海外への出荷が延期となったことから減少し、医療機器については、販売先の在庫調整による減産が続く、また新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり減少したことから、前連結会計年度に比べ減少しました。

その結果、売上高は265億38百万円（前期比14.4%減）となり、損益面については、半導体製造装置および医療機器において操業度の低下により固定費負担が高まったことから、営業利益は5億35百万円（前期比67.3%減）となりました。

（農業用設備事業）

農業用設備事業の売上高は、柑橘類向け選果選別プラントの納入が増加したものの、野菜類向け選果選別プラントが大きく減少したことから、前連結会計年度に比べ減少しました。

その結果、売上高は117億28百万円（前期比15.3%減）となりましたが、損益面については、技術の集積度が高い採算性の良い案件が多かったことから、営業利益は10億65百万円（前期比6.2%増）と増益となりました。

## ② 次期の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、景気は当面、厳しい状況が続くものと見込まれます。当社グループにおいては、特に海外向け案件に出荷の一時停止や出張の自粛による据付工事の中断などが発生しております。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、出張の自粛、在宅勤務の促進などを実施し、社員と家族の安全を最優先とし可能な限りの感染防止を図っており、今のところ感染者を一人も出さずに事業を継続運営しております。

このような状況のなか、パッケージングプラント事業の売上高は、調味料・飲料・食品・日用品・薬品などの生活必需品を生産するユーザーが多いことから急激に落ち込む可能性は低いものの、2期間に亘り好調に推移した国内向け飲料用無菌充填ラインが一巡したこと、また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により営業活動が制限され、受注まで時間を要していることから、減少を見込んでおります。

メカトロシステム事業の売上高は、半導体製造装置は5G、IoT、AIの広がりもあり徐々に回復していくと見込んでおり、医療機器は新規市場である米国においてFDAの認可が下りている人工透析装置の出荷を開始する予定であることから、全体としては増加を見込んでおります。

農業用設備事業の売上高は、超大型の柑橘類向け選果選別プラントを受注済であり、また「産地パワーアップ事業」および「強い農業づくり交付金」等の補助事業が継続され、選果選別プラントへの投資が引き続き堅調に推移することから、増加を見込んでおります。

以上により、連結業績は売上高1,030億円（当期比0.6%減）とほぼ横ばいとなるものの、利益面においては、主力のパッケージングプラント事業の操業度が低下し固定費負担が高まることから、営業利益82億50百万円（当期比11.9%減）、経常利益83億円（当期比13.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益58億円（当期比10.4%減）と減益を見込んでおります。

## (2) 財政状態の概況

## ① 資産、負債及び純資産の概況

当連結会計年度末の資産については、現金及び預金が32億9百万円減少したことから、前連結会計年度末に比べ43億90百万円減少し1,267億45百万円となりました。

負債については、支払手形及び買掛金が54億12百万円、前受金が17億38百万円それぞれ減少したことから、前連結会計年度末に比べ92億14百万円減少し580億61百万円となりました。

純資産については、主として親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が48億11百万円増加したことから、前連結会計年度末に比べ48億23百万円増加し686億84百万円となりました。

## ② キャッシュ・フローの概況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,609	3,639	△12,969
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,712	△4,750	△2,037
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,706	△2,114	591
現金及び現金同等物の期末残高	29,771	26,552	△3,219

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、36億39百万円の資金増加（前期は166億9百万円の資金増加）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が94億55百万円となり、前受金の減少額17億38百万円、仕入債務の減少額51億25百万円および法人税等の支払額32億14百万円による資金減少があったものの、非資金項目である減価償却費23億71百万円による資金増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、47億50百万円の資金減少（前期は27億12百万円の資金減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が53億15百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、21億14百万円の資金減少（前期は27億6百万円の資金減少）となりました。これは主に、借入金返済および配当金の支払によるものであります。

これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末より32億19百万円減少し265億52百万円（前期比10.8%減）となりました。

(ご参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期
自己資本比率 (%)	48.9	52.1	48.7	54.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	88.3	84.1	61.9	61.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	1.2	1.4	0.3	1.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	78.6	69.5	351.1	102.2

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

- ※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
- ※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
- ※ 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

利益配分につきましては、当社の基本的な考えは将来の収益向上と利益確保のために内部留保を充実し、また株主へも安定的な配当を実施すること、そして1株当たり利益の長期的向上をとおして株主に報いていく方針であります。

当期の配当金につきましては、前期と同じく、1株につき60円を予定しております。既に中間配当として1株につき30円を実施しておりますので、期末配当は1株につき30円を第72回定時株主総会に付議する予定であります。

なお、次期の配当金につきましては、中間および期末にそれぞれ1株につき30円（年間配当は1株につき60円）を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,038	26,829
受取手形及び売掛金	31,460	31,740
電子記録債権	8,152	7,210
製品	382	359
仕掛品	11,950	12,013
原材料及び貯蔵品	3,005	3,019
その他	3,478	2,783
貸倒引当金	△28	△80
流動資産合計	88,440	83,875
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,846	18,687
機械装置及び運搬具(純額)	2,418	2,562
土地	11,575	11,589
建設仮勘定	1,589	587
その他(純額)	1,135	1,189
有形固定資産合計	33,566	34,616
無形固定資産		
のれん	375	215
その他	303	358
無形固定資産合計	678	574
投資その他の資産		
投資有価証券	3,835	3,046
長期貸付金	6	5
退職給付に係る資産	2,547	2,566
繰延税金資産	1,368	1,362
その他	723	728
貸倒引当金	△30	△30
投資その他の資産合計	8,451	7,678
固定資産合計	42,696	42,870
資産合計	131,136	126,745

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,959	24,547
電子記録債務	1,588	1,874
短期借入金	1,730	1,348
未払法人税等	1,656	1,408
未払費用	6,206	6,141
前受金	10,418	8,679
賞与引当金	403	407
受注損失引当金	206	178
製品保証引当金	80	54
その他	4,117	2,454
流動負債合計	56,368	47,096
固定負債		
長期借入金	3,689	3,640
退職給付に係る負債	6,680	6,712
役員退職慰労引当金	321	338
繰延税金負債	33	106
その他	183	167
固定負債合計	10,907	10,964
負債合計	67,275	58,061
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,392	11,392
資本剰余金	10,357	10,357
利益剰余金	43,959	48,770
自己株式	△437	△438
株主資本合計	65,271	70,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△230	△413
繰延ヘッジ損益	10	—
為替換算調整勘定	△32	△37
退職給付に係る調整累計額	△1,178	△963
その他の包括利益累計額合計	△1,430	△1,414
非支配株主持分	19	17
純資産合計	63,861	68,684
負債純資産合計	131,136	126,745



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
売上高	108,626	103,619
売上原価	87,696	83,647
売上総利益	20,930	19,972
販売費及び一般管理費	10,561	10,605
営業利益	10,369	9,366
営業外収益		
受取利息	9	11
受取配当金	51	49
投資有価証券売却益	—	16
持分法による投資利益	4	59
その他	159	140
営業外収益合計	224	278
営業外費用		
支払利息	47	38
租税公課	35	16
為替差損	33	—
損害賠償金	102	21
その他	23	8
営業外費用合計	241	84
経常利益	10,352	9,560
特別利益		
固定資産売却益	49	2
投資有価証券売却益	142	163
補助金収入	257	46
特別利益合計	448	211
特別損失		
固定資産処分損	55	14
投資有価証券評価損	—	301
その他	1	0
特別損失合計	56	316
税金等調整前当期純利益	10,743	9,455
法人税、住民税及び事業税	3,099	2,926
法人税等調整額	△111	59
法人税等合計	2,988	2,985
当期純利益	7,755	6,470
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△10	△1
親会社株主に帰属する当期純利益	7,766	6,471

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
当期純利益	7,755	6,470
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△568	△183
繰延ヘッジ損益	12	△10
為替換算調整勘定	△36	△5
退職給付に係る調整額	164	214
その他の包括利益合計	△427	15
包括利益	7,328	6,485
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	7,337	6,486
非支配株主に係る包括利益	△9	△1

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	11,392	10,358	37,853	△436	59,166
当期変動額					
剰余金の配当			△1,660		△1,660
親会社株主に帰属する 当期純利益			7,766		7,766
自己株式の取得				△1	△1
連結子会社株式の取得に よる持分の増減		△0			△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△0	6,106	△1	6,105
当期末残高	11,392	10,357	43,959	△437	65,271

	その他の包括利益累計額					非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	337	△1	4	△1,343	△1,001	29	58,193
当期変動額							
剰余金の配当							△1,660
親会社株主に帰属する 当期純利益							7,766
自己株式の取得							△1
連結子会社株式の取得に よる持分の増減							△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△568	12	△37	164	△428	△9	△437
当期変動額合計	△568	12	△37	164	△428	△9	5,667
当期末残高	△230	10	△32	△1,178	△1,430	19	63,861

当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	11,392	10,357	43,959	△437	65,271
当期変動額					
剰余金の配当			△1,660		△1,660
親会社株主に帰属する 当期純利益			6,471		6,471
自己株式の取得				△0	△0
連結子会社株式の取得に よる持分の増減		△0			△0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	△0	4,811	△0	4,810
当期末残高	11,392	10,357	48,770	△438	70,082

	その他の包括利益累計額					非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	△230	10	△32	△1,178	△1,430	19	63,861
当期変動額							
剰余金の配当							△1,660
親会社株主に帰属する 当期純利益							6,471
自己株式の取得							△0
連結子会社株式の取得に よる持分の増減							△0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△183	△10	△5	214	15	△1	13
当期変動額合計	△183	△10	△5	214	15	△1	4,823
当期末残高	△413	—	△37	△963	△1,414	17	68,684

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	10,743	9,455
減価償却費	2,126	2,371
のれん償却額	181	159
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	147	159
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	148	163
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3	16
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	51
賞与引当金の増減額 (△は減少)	23	4
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	98	△27
受取利息及び受取配当金	△60	△61
支払利息	47	38
持分法による投資損益 (△は益)	△4	△59
投資有価証券売却損益 (△は益)	△142	△180
補助金収入	△257	△33
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,269	661
前受金の増減額 (△は減少)	6,310	△1,738
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,567	△4
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,292	△5,125
前渡金の増減額 (△は増加)	△1,038	407
未払又は未収消費税等の増減額	△661	879
その他	628	△310
小計	19,749	6,829
利息及び配当金の受取額	60	60
利息の支払額	△47	△35
法人税等の支払額	△3,151	△3,214
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,609	3,639
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△319	△381
定期預金の払戻による収入	308	370
投資有価証券の取得による支出	△749	△149
投資有価証券の売却による収入	201	529
有形固定資産の取得による支出	△2,256	△5,315
有形固定資産の売却による収入	94	4
無形固定資産の取得による支出	△77	△143
貸付けによる支出	△570	△677
貸付金の回収による収入	573	638
補助金の受取額	84	290
その他	△1	84
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,712	△4,750

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,000	1,300
長期借入金の返済による支出	△2,026	△1,730
自己株式の増減額 (△は増加)	△1	△0
配当金の支払額	△1,659	△1,658
その他	△19	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,706	△2,114
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29	5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	11,161	△3,219
現金及び現金同等物の期首残高	18,610	29,771
現金及び現金同等物の期末残高	29,771	26,552

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品の販売、生産体制やサービスの類似性を基準とした事業部門を設置しており、各事業部門は包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは事業部門を基礎としたセグメントから構成されており、「パッケージングプラント事業」、「メカトロシステム事業」および「農業用設備事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主要な製品は、以下のとおりであります。

セグメントの名称	主要製品
パッケージングプラント事業	ボトリングシステム（充填システム、キャッピングシステム、ラベリングシステムなど）、製函・包装システム、製薬設備システム（医薬品製造システム、アイソレータなど）、再生医療システム（細胞培養アイソレータ、ロボット自動細胞培養システム、バイオ3Dプリンターなど）など
メカトロシステム事業	切断加工システム（レーザ加工機、ウォータージェット切断加工機など）、半導体製造システム（ハンダボールマウンタ、ワイヤボンダ、LED検査装置など）、医療機器（レーザ手術および治療装置、人工透析装置など）、超音波発生装置、油圧プレス機など
農業用設備事業	農業用選果・選別システムなど

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であり、セグメント間の内部売上高および振替高は市場実勢価格等に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
 前連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上 額(注) 2
	パッケージ ングプラ ント事業	メカトロ システム 事業	農業用設備 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	63,777	31,001	13,848	108,626	—	108,626
セグメント間の内部売上高 又は振替高	728	636	819	2,184	△2,184	—
計	64,506	31,638	14,667	110,811	△2,184	108,626
セグメント利益	9,870	1,634	1,003	12,509	△2,140	10,369
セグメント資産	62,400	29,420	8,753	100,574	30,562	131,136
その他の項目						
減価償却費	1,439	478	136	2,054	68	2,123
のれんの償却額	44	137	—	181	—	181
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,754	2,702	136	4,594	180	4,775

(注) 1. 調整額の内容は、以下のとおりであります。

- (1)セグメント利益の調整額△2,140百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,132百万円および棚卸資産等の調整額△7百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - (2)セグメント資産の調整額30,562百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産30,609百万円および棚卸資産等の調整額△47百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金(現金及び預金、投資有価証券)および管理部門に係る資産であります。
  - (3)減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
  - (4)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業損益と調整を行っております。



当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上 額(注) 2
	パッケージ ングプラ ント事業	メカトロ システム 事業	農業用設備 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	65,353	26,538	11,728	103,619	—	103,619
セグメント間の内部売上高 又は振替高	675	720	973	2,369	△2,369	—
計	66,028	27,258	12,701	105,989	△2,369	103,619
セグメント利益	10,038	535	1,065	11,639	△2,272	9,366
セグメント資産	64,081	27,623	9,025	100,730	26,015	126,745
その他の項目						
減価償却費	1,506	638	146	2,291	76	2,368
のれんの償却額	21	137	—	159	—	159
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,325	1,564	108	2,998	623	3,621

(注) 1. 調整額の内容は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△2,272百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,264百万円および棚卸資産等の調整額△8百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - (2) セグメント資産の調整額26,015百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産26,071百万円および棚卸資産等の調整額△55百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金（現金及び預金、投資有価証券）および管理部門に係る資産であります。
  - (3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
  - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業損益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2018年7月1日 至 2019年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	北米	その他	合計
81,958	15,858	4,451	6,358	108,626

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称または氏名	売上高	関連するセグメント名
ニプロ株式会社	15,604	メカトロシステム事業

当連結会計年度（自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	北米	その他	合計
75,587	18,658	4,569	4,804	103,619

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称または氏名	売上高	関連するセグメント名
ニプロ株式会社	12,504	メカトロシステム事業
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	12,270	パッケージングプラント事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位：百万円)

	パッケージング プラント事業	メカトロ システム事業	農業用設備事業	全社・消去	合計
当期末残高	21	353	—	—	375

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位：百万円)

	パッケージング プラント事業	メカトロ システム事業	農業用設備事業	全社・消去	合計
当期末残高	—	215	—	—	215

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)		当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	
1株当たり純資産額	2,307円43銭	1株当たり純資産額	2,481円87銭
1株当たり当期純利益	280円70銭	1株当たり当期純利益	233円89銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
純資産の部の合計額	63,861百万円	68,684百万円
純資産の部の合計額から控除する金額 (うち非支配株主持分)	19百万円 (19百万円)	17百万円 (17百万円)
普通株式に係る期末の純資産額	63,841百万円	68,667百万円
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数	27,667千株	27,667千株

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益	7,766百万円	6,471百万円
普通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	7,766百万円	6,471百万円
普通株式の期中平均株式数	27,668千株	27,667千株
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要	新株予約権 (第四回信託型ライツ・プラン) 50,000千株	新株予約権 (第五回信託型ライツ・プラン) 50,000千株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

受注の状況

## ① セグメント別の受注高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前連結会計年度	当連結会計年度	対前年比
			%
パッケージングプラント事業	80,397	52,636	△34.5
(酒類用プラント)	( 2,798 )	( 1,740 )	( △37.8 )
(食品用プラント)	( 59,720 )	( 32,957 )	( △44.8 )
(薬品・化粧品用プラント)	( 15,789 )	( 14,897 )	( △5.7 )
(その他)	( 2,089 )	( 3,040 )	( +45.6 )
メカトロシステム事業	28,914	23,132	△20.0
農業用設備事業	11,862	15,845	+33.6
合 計	121,174	91,614	△24.4

## ② セグメント別の受注残高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前連結会計年度	当連結会計年度	対前年比
			%
パッケージングプラント事業	62,476	49,759	△20.4
(酒類用プラント)	( 1,275 )	( 705 )	( △44.7 )
(食品用プラント)	( 46,334 )	( 30,500 )	( △34.2 )
(薬品・化粧品用プラント)	( 14,348 )	( 17,281 )	( +20.4 )
(その他)	( 517 )	( 1,272 )	( +145.8 )
メカトロシステム事業	9,377	5,971	△36.3
農業用設備事業	6,784	10,901	+60.7
合 計	78,638	66,632	△15.3